

釈迦ヶ岳旧登山道の整備

◇実施日 8月18日(日) 晴

◇参加者 梶野照雄、志岐敬、山本直子、湯川一郎、阪口雄二、大江加予子・徳子、生熊千満子、上村和美、高階美根子、

瀧本昭太郎 11名

9月1日の日曜日に釈迦ヶ岳山頂の釈迦如来像建立100年の祝賀登山を予定しているが、インターネットの普及で釈迦ヶ岳の登山者が増え、日曜日には太尾登山口に車が駐車できないことが普通になってきた。



旧登山口



苔の下にロープが



トラロープを渡す

そこで、昔何度も登った旧登山道(不動木屋谷登山道)の復活をもくろ

み、6月26日に調査を行った。旧登山道の東側尾根を中心に2022年の冬に間伐が実施され、その時につけられたテープが登山道と無関係な場所に多数残されていた。今回はその無関係なテープを外し、本来の登山道に目印をつけて迷いがないようにすることが目的だ。

特別呼びかけたわけではないが、参加の申し出が相次ぎ、前日には瀧本さんもトラロープ50mを持って参加すると電話があり、総勢11名で実施することになった。午前9時をちよつと過ぎて旧登山口に着く。今日の予定を説明し登り始めた。10分ほど歩くと、全面に苔をまとった岩が現れる。昔の写真を見ると、この岩の間を通過しているので踏み跡らしいところを登る。途中でふかふかの苔を剥がしてみると、古いトラロープが見つかった。ここを歩いていた物証だ。



テープを付ける

2か所目にロープを張る

支障木を排除

GPSを見ながら方向を修正して岩場を越えると確実に道であるところに出て、しばらくは道なりに登る。40分位登ったところで崩れた沢に出て、瀧本さんがトラロープを渡す。それほど危険ではないが、ロープを張ることでここが道だと判り易くなる。このあたりにも昔は標識が立

つていたのだが、崩れで流されたのか見当たらなかった。最後尾の湯川君は各所にテープを付けてくれた。今日も暑いので、登りはゆつくり、短時間で休憩を取り水分補給を行った。その後、もう一か所の崩れた沢にもトラロープを設置し、立木のまばらな笹原に出た。ここから太尾登山道までは10分ほど。先が見えたので一安心だ。2km弱の行程に2時間かけた。



太尾登山道の分岐

本日の参加者

植林の中を下る

朝が早かったので太尾登山道の分岐で昼食を摂っていた。下山は旧道の途中から林道へ降りるルートを選択した。このルートは榎本さんが何度も使っているようなので、先日お会いした際に少し教えていただいた。インターネットのサイトにもルートの軌跡があるので、それを参考にして下った。太尾登山道の分岐から8分ほど下ったところから左手の斜面に降りる。散開して踏み跡を探すと、何か所かに踏み跡が見つかったが、辿っていくと同じ場所に出てその後は一本道になった。GPSの軌跡とも合致する。旧登山道から5mも東に下ると付近は植林で、歩いている道

は植林の際の杣道を辿っているようだ。杣道特有のジグザグに続いている道は、はつきりとして歩きやすい。林道まであと少しというところに丸太でできた古いハシゴがあった。長さは2m位だが腐食が進んでいて踏むと折れそうなので、端のほうを慎重に下った。このハシゴを越えると林道が見えてきて、5分で林道に着いた。



腐ったハシゴ

林道に着く

旧登山口まで歩く

榎本さんの説明通り、すぐ前にカーブミラーがあり2〜3台の駐車ができそうだ。上下の林道脇も見に行つたが、100m以内に駐車できそうな場所が3か所あった。林道を歩いて車を停めた旧登山口に向かう。舗装道路を15分歩いて旧登山口に着いた。その間降りてくる車が4台ほど通過した。
(記：梶野)

行動タイム

旧登山口 09:17 → 11:17 太尾登山道の分岐 11:46 → 11:54 林道への分岐 → 12:29 林道 → 12:45 旧登山口

